

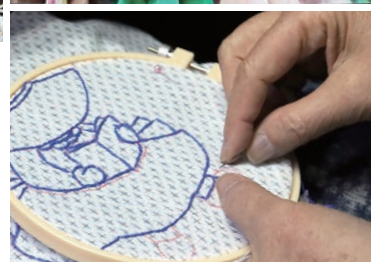


# 私と手芸

## 大戸弘さん・ツヤ子さん ご夫妻



▲増田マサミさん(右)と相談しながら針を進める大戸ツヤ子さん  
◀手芸仲間の皆さんと並ぶ大戸弘さん、ツヤ子さん(右から2人目)



### “手芸が紡いできた夫婦のかたち、仲間とのつながり”

大戸さんご夫婦の部屋に、所狭しと並べられた、やわらかな色合いのパッチワークや表情豊かな紙人形。その一つ一つが、手芸とともにご夫婦が過ごしてきた長い時間と、穏やかな日々を物語ります。

ご夫婦が手芸を始めたきっかけは、もらい物の紙人形。色鮮やかな包装紙を用いて作られた紙人形の立ち姿に魅了され、夫婦で作品づくりをスタートさせました。大きな包装紙を切り分けるという下準備から始まる紙人形の制作は、元大工の弘さんが培ってきた技術を生かして紙を10センチ角や5センチ角に正確に切り分け、寸分違わぬ形に人形を仕上げていきます。「きれいに切らんと、ええもんはできん」と話す弘さんのその丁寧な姿勢が、作品の完成度を支えてきました。

紙人形の制作に励む中、ふと立ち寄ったパッチワークの作品展で目にした増田マサミさんの作品に心を奪われてすぐ、パッチワークの制作を始めたツヤ子さん。若い頃から和裁に親しみ、「老後は好きなことを思う存分したかった」と語るツヤ子さんにとって、パッチワークは念願そのもの。仲間とともに布を選び、配色に悩みながら一針一針縫い進める時間は、穏やかで自然と笑顔がこぼれるひとときです。ひとつの作品が完成するまでに3カ月ほどかかることもあるそうですが、「苦になったことは一度もない」と話すツヤ子さん。家事を手早く済ませ作業台に向かう日々の中、弘さんはそっと材料づくりを手伝い、夫婦で夜遅くまで作業を続けたことも少なくありません。

「手芸に励む時間があるから元気でられる」そう語るツヤ子さんの言葉に、弘さんも静かにうなずき、完成した作品を眺め笑いあう姿が印象的な大戸さんご夫婦。これまでに生み出された作品は数え切れず、手芸の魅力や楽しさが広がり、生まれた仲間とのつながりはこれからも優しく紡がれていきます。

#### 編集後記

今年の成人式も、会場はにぎやかで華やかな雰囲気にもまれていました。新成人、保護者の皆さま、本当におめでとうございます。久しぶりに集まった仲間たちとの再開を喜ぶ様子やその光景を穏やかなまなざしで見つめる保護者の方々が印象的でした。紙面の都合上、あまり頁が割けず撮影した写真が掲載しきれない…。広報係としてこれほど悔しいことはなく、できるだけ多くの新成人たちを町民の方へ伝えたい、苦心惨憺した今号です。 H

昨年末にお邪魔した大戸さん宅。「90歳でも100歳でも、元気なうちはパッチワークを続けたい」と話す笑顔が印象的でした。活力に満ち溢れたツヤ子さんの姿に触れ、私もCATVカメラマンも強い感銘を受けた令和7年の取材納めとなりました。

一針一針紡いでいくパッチワークと我々の広報制作は、少し似ているかもしれません。布や糸の配色を考えるツヤ子さんのように、私も工夫を凝らしながら紙面制作に励んでいきます。 M

#### ■編集・発行

愛南町役場 総務課 〒798-4196 愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地 電話：(0895)72-1211 FAX：(0895)72-1214

### 愛南町の世帯数と人口

令和8年1月1日現在

世帯数	9,677世帯(−29世帯)
人口	18,070人(−53人)
男	8,576人(−26人)
女	9,494人(−27人)

愛南町の高齢化率 47.9%

※( )内は前月比

●10年前 同月の人口 23,106人